

一茶ゆかりの里四季の俳句会 (令和八年四月～六月分)

選者 高山俳壇 高野 悠子 先生

特選天 山の湯の晴れたる朝や遠郭公 埼玉県 小林 美峰

昨夜の雨も止んで清々しい眺望。ゆったりと郭公を聴きながらの朝風呂。至福の一時。視聴覚の佳句。

特選地 芽吹きたる落葉松雨滴怵へをり 群馬県 篠原 庄治

落葉松の芽吹きは、正に元氣と希望が沸きます。中七下五のフレーズ見事。

特選人 声掛けて手折る隣家の白椿 千葉県 土田 宏美

白椿の花は清楚です。お隣に咲き初めた椿を一枝いただく情景が目に見えます。

入選 濃淡の緑あふるる初夏となる 神奈川県 おおもり じゅん子

入選 ぶらんこの空舞う時の笑い声 愛知県 武山 明彦

入選 戯れ言のキャッチボールや四月馬鹿 群馬県 仙田 美名代

入選 夏めくやリズムに合わせ踵上げ 群馬県 竹渕 洋子

入選 会ふ人に話したくなる初音かな 群馬県 竹渕 千恵子

入選 明日壊す生家に降るや桜薬 神奈川県 坂口 和代

入選 アカシアの花の香纏ふ脇往還 群馬県 岡本 政彦